

## 乗鞍岳での天体観測

1949年、大阪市立大学の宇宙線研究者たちは、最果ての宇宙を観測する実験を行うため、最適な場所を求めて日本の山々を調査しました。標高が高く、空が非常に澄んでいることから、乗鞍岳の高地である豊平を最終的に選びました。1953年、この地に東京大学宇宙線観測所（現・乗鞍観測所）が建設されました。乗鞍岳は、夜空の素晴らしい景色を求めるプロや趣味の天文学者を魅了してきました。

天候に恵まれたとき、乗鞍岳は天体観測するのにぴったりの場所です。なぜなら、乗鞍岳は山の稜線に囲まれた盆地にあり、松本市や高山市など近隣の都市の夜の光を遮ることができるからです。また、同じような標高の高い場所に比べて、高原へのアクセスも素晴らしいです。松本と高山から乗鞍バスターミナル（標高 2,702m）まで定期バスが運行しています。

最終バスは暗くなる前に豊平を出発するので、天体観測を希望される方は、乗鞍白雲荘、乗鞍銀嶺荘、肩の小屋のいずれかの山の宿泊施設に宿泊されることをお勧めします。宿泊施設は手頃な価格で快適、そして便利なおうえ、望遠鏡や星座早見盤を置いているところもあります。

視界と写真撮影は、新月の 때가 ベストです。